

1学年通信『原:げん』

挨拶は、命を救う最強の防災だ! ~なぜ、毎日の「おはよう」が命を守るの?~

定期考査を終え、1学期も折り返し地点。1年生のみなさんは、学校生活の「原点」が少しずつ形作られてきています。みなさんは日頃、どのような意識で「挨拶」をしていますか?実は、挨拶は単なるマナーではなく、災害時に自分や仲間の命を救う「最強の防災」になります。災害が起きたとき、学校や地域はひとつの「救助チーム」となります。チームワークを高める最初の1歩こそが、日々の「挨拶」なのです。これは先日、6月1日(月)に行われた防災Dayの特別講座で講師をして頂いた防災士の方のお話の中にも関連する内容があったので、調べてみました。

〇心がけてほしいポイント!

① 仲間を助ける「アンテナ」になる!

普段から挨拶を交わしていると、友達の「いつもと違う様子」に気づけるようになります。これが災害時には、「〇〇さんは足をケガしているから、支えて逃げよう!」といった、気づきに繋がり、仲間を助けるアンテナを強くします。

② 避難のスピードが「一瞬」で変わる!

挨拶ができるクラスは、互いに声を掛け合い、人の話をしっかり聞く「能動的な雰囲気」ができています。これは、緊急時のリーダーや先生の指示に対し、パニックにならず一瞬で反応できる力へと繋がります。

③ 先輩や他クラスとの「壁」をこわそう!

地震は教室以外(トイレや移動教室)でも起きます。学校生活の中で学年を超えて誰とでも挨拶を交わしていれば、近くにいつもの友達がいなくても、先輩や後輩と声を掛け合って一緒に避難することができます。

非常食を準備するだけが防災ではありません。

今日の「おはよう・こんにちは」から、命を守る準備を始めましょう。

「めんどくさい」が命を救う!? 中1からのスムーズ・防災お片付け術

「誠実の原理」のもう一つの柱である「身の回りの整理」も、いざという時に自分の命を守る最強の武器になります。整理整頓は、ただの「お掃除」ではなく、自分と大切な友達を守る「作戦」です。

① 普段の学校生活が「スムーズ」になる!

物を探す時間がゼロになれば、学習時間を「節約」でき、すぐに集中モードに入れます。提出物の忘れ物も防げ、自分の可能性(原石)を磨く準備が整います。

② 散らかった部屋は、地震のときに「凶器」に変わる!

逃げ道をふさがない → 床にカバンを置かない習慣は、停電や地震の際に転ばずに逃げるための訓練です。

暗闇でも1秒で動ける → 貴重品や鍵の場所を決めておくことで、非常時に迷わず行動できます。

みんなを守る → 机の横に不必要な荷物を掛けない、ロッカーの上に物を置かない。

これは、大切なクラスメイトのケガを防ぐための「誠実さ」の表れです。

保護者のみなさまへ

1学年では学年スローガン『原:げん』達成に向けての3本柱のひとつ「誠実の原理」として、挨拶や整理整頓の徹底を指導しております。これらは一見、学習とは無関係に思えるかもしれませんが、実は「見通しを立てる力」や「周囲への配慮」を養い、ひいては命を守る力へと繋がっています。家庭学習(目安1日1時間)に取り組む際も、まずは机の上の整理整頓から始めるよう、ご家庭でもお声掛けいただければ幸いです。